YACかわら版 第17回

4月3日配信号

https://www.naha-airport.co.jp/

那覇(なは)空港の新しい滑走路

先週の3月26日、沖縄の那覇空港の第2滑走路の運用が始まりました。滑走の工事の様子を分析してみましょう。

運用が始まる前日のセンチネル2画像です。
雲間に飛行場がみえます。

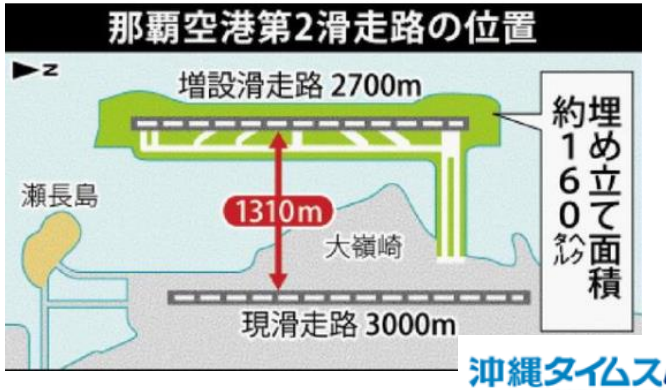
©ESA

沖縄タイムスの記事を紹介しましょう

那覇空港第2滑走路　いよいよテイクオフ
3月26日供用開始　期待と課題は

2020年1月4日 08:00着着と建設が進む那覇空港第2滑走路＝11月28日、那覇市（本社チャーターヘリで下地広也撮影）

那覇空港の新たな滑走路が2020年3月26日、開業する。安定的に運用できる年間の離着陸回数は24万回に増大。観光を基幹産業と位置付ける沖縄にとって、空の玄関口の拡大は多くの航空機の往来を生み出し、観光需要の高まりに期待がかかる。また、離着陸時の混雑も大幅に改善され、定時運航にもつながるなど、多くのメリットを持つ。一方で、開業後すぐには路線拡大が見込めないなど課題もあり、第2滑走路の有効活用には関係機関の取り組みが鍵となる。（政経部・仲本大地、島袋晋作）

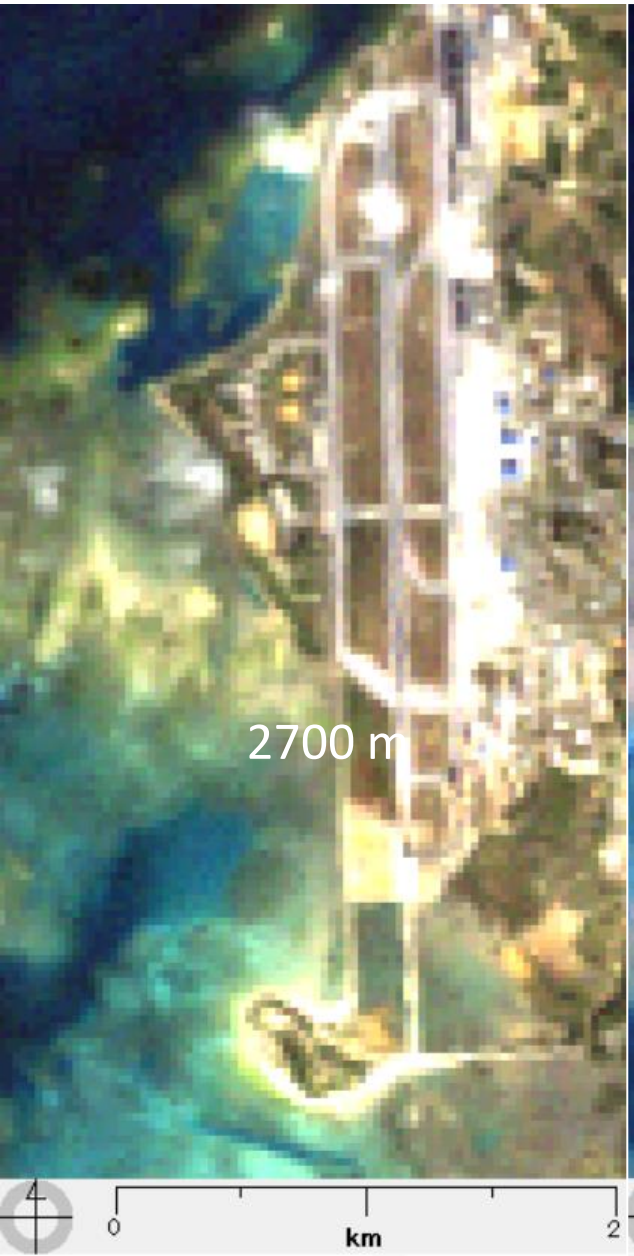


沖縄タイムスプラス OKINAWA TIMES

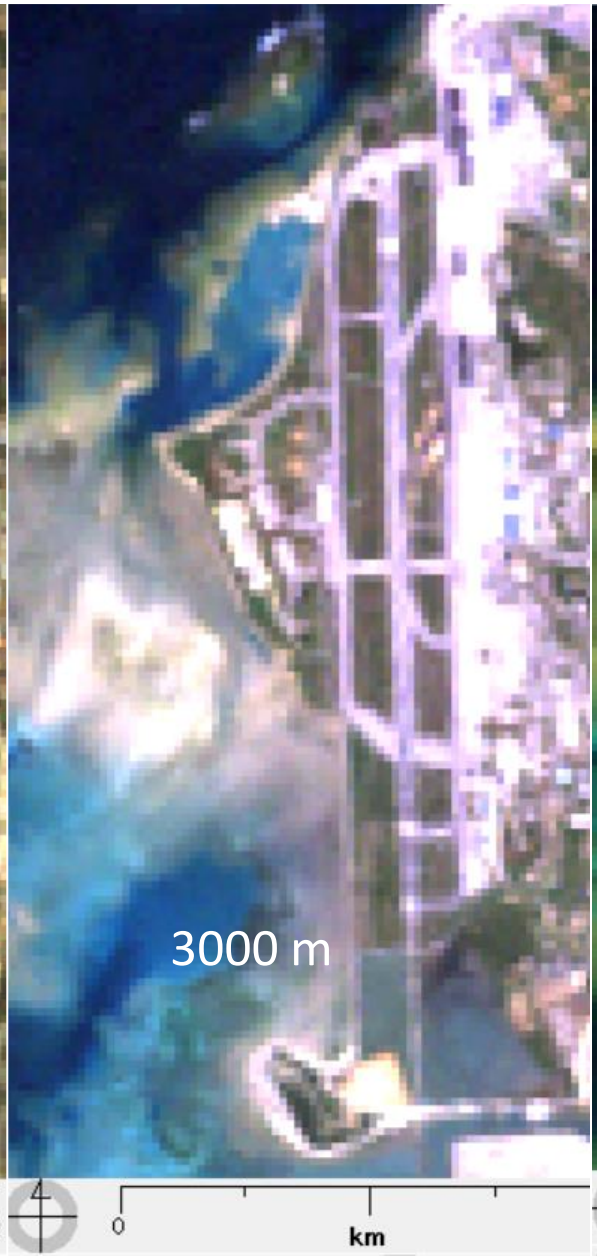
＊構成を変更したり、一部省略しています。

1986年（昭和61年）滑走路が2700 mから3000 mに延長される。

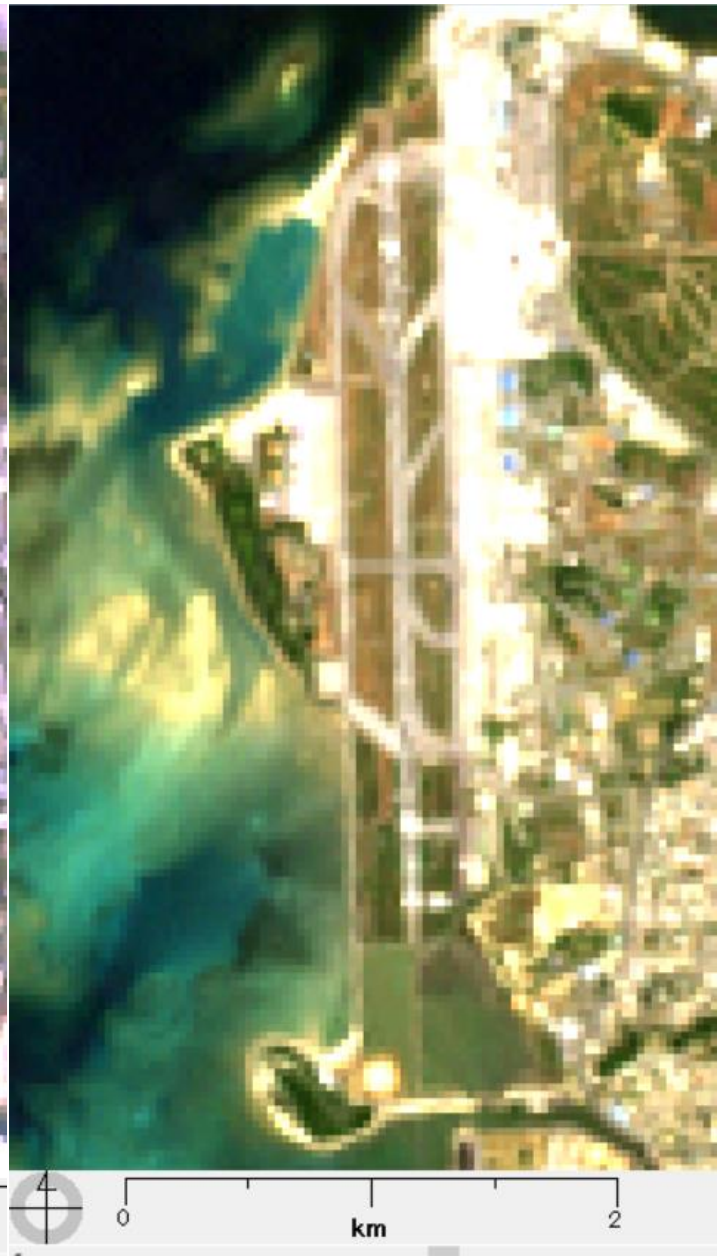
1985年1月17日 ランドサット5



1988年4月15日 ランドサット5



2001年7月16日 ランドサット7



2014年3月から第2滑走路の工事が始まる

2014年1月1日

ターミナルビルがかわっている

2015年1月4日

「→」の工事が目立つ

滑走路の護岸工事が進むと、埋め立てが始まる

2015年12月13日

護岸はどのように造られたのだろうか？
大きなブロック？

2016年11月12日

土砂はどうやって運んだのだろう

埋め立てが終わると、誘導路などもつくられている

2018年2月20日

北側はほとんど埋め立てがおわり、南側がこれから埋め立てられる
第２滑走路は幅が60mなので、幅が目立つ

2018年6月28日

きれいな沖縄の海なので、第２滑走路の西側の海のようすがわかる

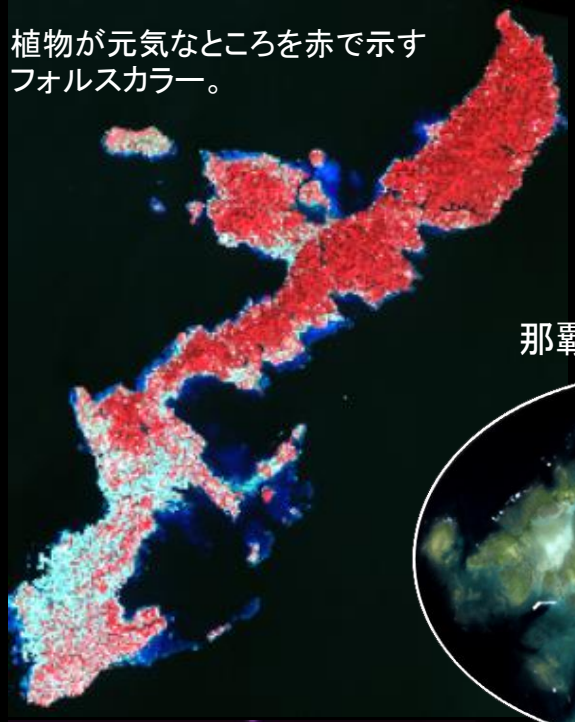
第2滑走路から連絡路もできた

2019年11月6日

1985年1月17日～2019年11月6日は
ランドサット5，7，8の画像　©USGS
2014年以降のランドサット8の画像はパンシャープンの画像である。

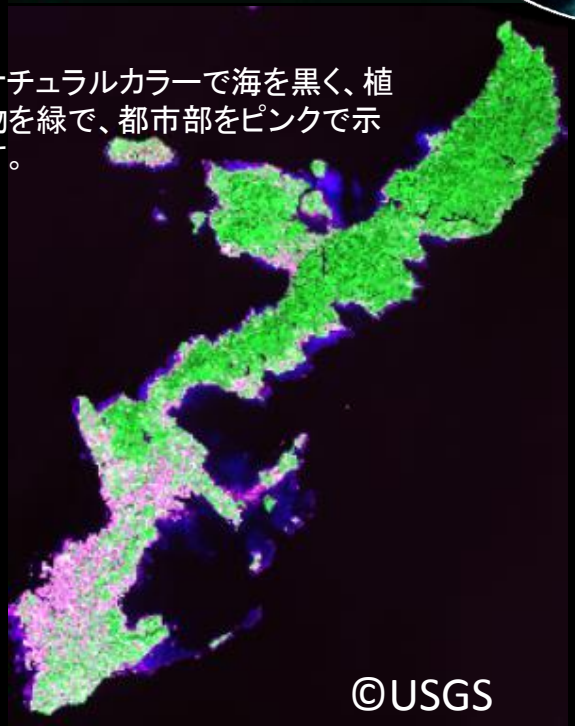
2015年1月4日の沖縄本島
ランドサット8

植物が元気なところを赤で示すフォルスカラー。



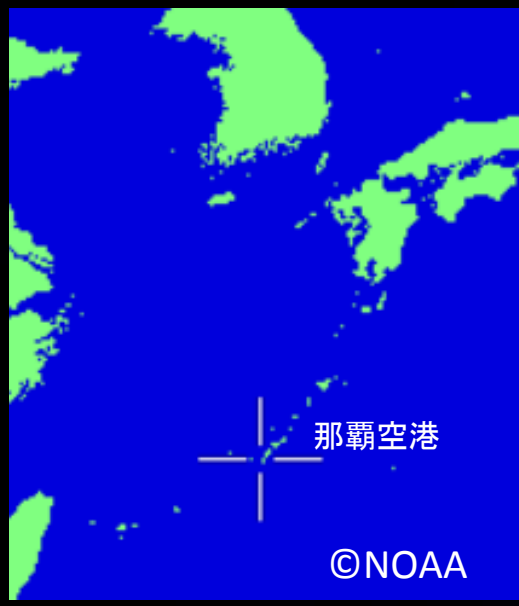
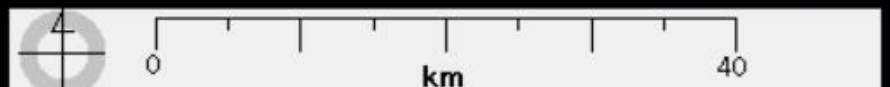
那覇空港周辺

ナチュラルカラーで海を黒く、植物を緑で、都市部をピンクで示す。



©USGS

沖縄の海岸は美しい



©NOAA